

つ・な・ぐ

<No.5>

平成24年10月31日

*校訓；「本気」 *学校教育目標；「生き生きと学ぶ子」・「心の豊かな子」・「はつらつと健康な子」

三島市立東小学校長 渡辺 輝彦

支えられています、「家庭力」・「地域力」に……

体育館につめかけた、400人を超える親子



10月13日（土）、夜の6時半、東小の体育館に**139組(426人)**もの親子が詰めかけました。これから、PTA主催のふれあいフェスティバル・「第3回・夜の学校探検」が開かれるのです。

真っ暗な校舎内を、順番に、懐中電灯の光だけを頼りに、親子で回ってきます。「通行手形」に記された指示のとおりに進んでいくと、所々にチェックポイントが設けられており、そこで、クイズに挑戦します。

でも、これだけの人数の親子が回って戻ってくるのですから、問題は、「待ち時間」です。

しかし、その準備も万全でした。フロアの中央では、保護者の教育支援ボランティアによる「ピアノの演奏やイントロクイズ」、ステージの前や上では、地域の有志による「マジックショー」や、御殿場市からお招きした「富岳太鼓の演奏会」が次々と繰り広げられていくのです。待っている人たちを、全く飽きさせることがありません。

また、今年度は9月に、本校のお父さん方に呼び掛けて、「オヤジの会」が結成されました。うれしいことに、現時点で、**37人**もお父さん方が名乗りを上げてくださっています。そして、この方々の最初の活動が、「学校探検」のコースの最後に、「お化け屋敷」を設けようということでした。しかし、全員が必ず通るのではなく、希望者のみが挑戦するという優しさがありました。部屋中に、コウモリやガイコツが吊るされ、モナリザが不気味に微笑んでいました。



腹の底に響いた、「富岳太鼓」の力強い演奏

ここまで、今年度と前年度のPTAの役員が中心になり、6月から企画を練り始め、何回も打ち合わせを繰り返してきたそうです。そして、保護者や地域の方のご支援をいただき、さらに、お父さん方も巻き込んで、この会はつくり上げられたのです。

また、夜に実施されるということで、事前にも、学校のご近所に対して、お詫びの挨拶に回るという心配りもありました。こうして、近隣にお住まいの方々の温かいご理解に支えられた会でもあったのです。

——学校教育に向けられた、大きな「**家庭力**」、大きな「**地域力**」に、改めて心より感謝申し上げます。

<オヤジの会>の力作・「お化け屋敷」



“家庭”・“地域”に秘められた 底力

10月28日(日)、「三島市東部地区のシルバー」の方々が、本校敷地内の「本気の森」周辺の清掃作業を行ってくださいました。今までは市内を歩きながらの奉仕作業だったようですが、「どうせなら、子どもたちの学習環境を整備しよう」ということになったのだそうです。

朝の8時半頃から、お年寄りが徐々に集まり始め、黙々と作業に取り掛かっていきます。落ち葉を集めたり、草取りをしたり、低木の剪定(せんてい)をしたり……。「二宮金次郎像」の周りがみるみるうちにきれいになっていきました。

「シルバー」という言葉は、<白髪>の色からの連想で生まれた言葉だそうです。しかし、こうして社会のために、前向きに生き生きと活動される姿を見ると、「シルバー」の“宝石言葉”である<若さの主張>の方がふさわしい感じがします。11時頃まで続けられた丁寧な作業によって、子どもたちの学習環境は見違えるほどに整えられていました。お年寄りに秘められた、**大きな“底力”**を感じさせられました。



シルバーの方々による「奉仕作業」

東町自治会の「防災訓練」



かしていきたいと考えているのか、まずは「テント張り」を、中学生を使って行わせました。子どもたちは、消防団員や自治会の大人の方々の指示に素直に従い、短時間で見事に作業をやり遂げました。自治会としての姿勢に感心させられると同時に、それに応えようとする若者たちに、地域が秘めた**大きな“底力”**を感じました。

そして、3つの班に分かれての様々な実地訓練に入りました。「水消火器の使い方」、「三角巾の折り方・縛り方」、「簡易担架の作り方」、「防災倉庫の備蓄品の確認」等が順番に行なわれていきました。

いざ災害が起きた時に、いちばん頼りになるのは、やはり同じ地区に暮らす住民です。東町ばかりでなく、どの地区でも熱心に防災訓練が行なわれています。それにより、<自分の命は自分で守る>意識を高め、そして、<互いの命を互いに守り合う>姿につながっていくことが大切です。

なお、ご都合のつく保護者の皆様には、今後も、子どもたちの教育活動に直接かかわる「本気ママ<読み聞かせボランティア>」「ITママ<パソコン操作活動支援ボランティア>」へのご協力をお願い申し上げます。

親御さんに秘められた**大きな“底力”**を発揮していただくことを期待しています。



この「連携だより『つなぐ』」は、「学校だより『本気』」の紙面でお伝えしきれない部分を補うために発行していきます。主に、学校の教育活動にかかわる“保護者の皆様・地域の方々の活動”をご紹介します。家庭・地域と学校との架け橋にしていきたいと考えています。御意見・御要望等がありましたら、遠慮なくお寄せください。

なお、今年度も、東小の教育活動をできるだけタイムリーに発信しようと、「東小学校のブログ(ホームページ)」こまめに更新するよう努めていきます。関心のある方はのぞいてみてください。

担当；西原 昌俊<教頭> 電話；055(975)0110<東小>

